から放散しており、1日当たりの放散量は夏が7440立方㍍、冬が6240立方㍍に上る。

11年度には出力25キロワットのガスコージェネレーションシステムを整備。17年度に完成した地域資源活用総合交流促進施設「湯の杜ぽっけ」にも同

に、施設内の電力確保に大きく貢献し、携帯電話の充電など災害時に能力を発揮した。

事業展開としては、未利用天然ガスで発電し、電気と熱について豊富温泉地区や工業団地のほか、公共施設での活用を視野に検討を進める予

ネルギーの地産地消で経済活性化や自然災害に強い町づくりを目指したい」と期待を込めた。大槻社長は「天然ガスで培った技術などを生かし、エネルギーの地産地消に向けた取り組みを手伝いたい。地元の支援を頂きながら、地方が元気に発

た災害に強いまちづくりの推進―という3項目で連携・協力することを確認。今後は両者が連携し、天然ガスの有効活用に向け需要と供給のバランスなどを見極めながら、発電規模や熱利用なども含めた事業計画を固める。

にを実施する企業に118社、全体に占める割合は前年比5・2㌽増の23・6%だった。定年を65歳とする企業は96社で4・2㌽増の19・2%。70歳以上でも働ける企業は143社、4・8㌽増の28・5%という結果となった。

希望すれば65歳以上で

を図るとともに公的賃貸住宅の建設について検討。農村市街地における市営住宅の適正管理や活用、住み続けられる住環境整備の検討も進める。

25日までパブリックコメントを募集し、その後成案化する予定だ。

根絶誓う 冬季安全大会

安全第一でお願いしたい」

と要請。札幌建管深川出張所の中野和明所長は「除排雪作業は、吹雪など厳しい条件で実施することもある。きょうの大会をきっかけに安全意識を強く持つように」と呼び掛けた。

講話では、滝川労基署の阿部博安全専門官が実際に発生した事故事例を基に冬季特有の労災防止対策について解説。「現場ではきちんと対策していても、準備の段階で油断して労災が発生する事例もある」とし、些細（ささい）な作業でもヘルメットをかぶるなどの安全対策をするよう求めた。

この後、深川警察署の加藤秀毅交通課長が除雪作業中の交通事故防止をテーマに講話した。

水道凍結に注意呼び掛け

岩見沢市

【岩見沢】岩見沢市では、ことしも水道凍結への注意を呼び掛けている。外気温がマイナス4度以下となる日や、寝る前、旅行などで水道を使用しないときにも凍結の恐れがあるため、小まめな水抜きが必要だ。

過去に起きた水道凍結の統計を見ると、市が報告を受けているものは、2010年度（全て12―3月までの合計）が336件、11年度が809件、12年度が886件、13年度が767件、14年度が329件、15年度が201件、16年度が1115件、17年度が472件となっている。寒さの厳しかった16年度シーズンは年明けの17年1月に887件の報告があり、寒さと水道凍結が連動していることがうかがえる。

ことしは今のところ高めの気温で推移しているものの、今週末には道内も寒波に見舞われる見込みで、外気温がマイナス4度以下になる日は特に注意が必要となる。

市では凍結を防ぐための準備として、シーズン到来前に、水抜き栓が正常に働くか確かめるよう求めているほか、室内が暖かいからといって過信せず、床下を通る水道管が凍結する可能性があることを認識するよう促している。

同センター専門相談員で中小企業診断士の長谷川浩昭氏が講師となり、担い手の確保・育成をテーマに現状分析や育成環境整備のポイントなどについて講義する。

申込書は7日午前10時から上川総合局のホームページで公開する予定。参加希望者はFAXで上川総合局、留萌振興局、宗谷総合局のいずれかの建設指導課へ提出する。

問い合わせは各振興局の建設指導課か、北海道建設業サポートセンター、電話011(204)5810まで。

ホットライン

美唄養護学校に一足早いサンタ

谷村工業と高瀬工業

「みんな良い子にしていたから、ことしもまたプレゼントを持って来たよ」―。クリスマスを控えた5日、5人のサンタとトナカイ1頭が、北海道美唄養護学校の寄宿舎で暮らす生徒らの元を訪れた。生徒たちは大喜びで迎え入れ、一足早いサンタの登場に胸を高鳴らせた。

サンタらの正体は、地元美唄市で建設業を営む谷村工業の谷村明紀社長や高瀬工業の高瀬健秀専務ら6人。親元を離れて寂しい思いをしながら寄宿舎生活をしている小学生から高校生までの27人を楽しませようと、2005年から毎年プレゼントを贈っている。

終始、喜びを抑えられない生徒一人一人に、サンタが満面の笑顔でショートケーキと文房具が入った袋を手渡し、「来年も良い子でいてね」と声を掛けた＝写真。

生徒らは「素敵なプレゼントをありがとうございます。きょうは楽しく過ごせました。来年も来てください」とお礼の言葉を述べていた。

同校の小原雅浩校長は「生徒はこの日を首を長くしてずっと待っていた」と感謝していた。（岩見沢）

名取市「金太郎」
復興支援・長期宿泊
www.wealsupport.com
エアコン・ベッド・ウォシュレット・ロッカー・冷蔵庫・テレビ・洗濯機・風呂
MSK Co.,Ltd. 連絡先 022-395-8399

水中捨石基礎均し工法「パイプ式タンピングハンマー」

書を提出
など8項目

7割助成、除助成が導入さ
は佐藤会長、
会長、川上美
が市役所を訪
度に向けた事
行った。佐藤
移住・定住P
なく、受け入
整備、移住後
トが必要。専
おこし協力隊
ど一つでも多
」と高橋市長
の提案書を手

果的な事業施策にしたい」と話した。

提案書の要旨は次の通り。

▼情報・PR活動の推進▽PR動画による情報発信、PRイベント旅費支援など

▼移住・定住促進助成金▽住宅に係る助成制度拡充（新規）、若者世代の家賃助成、民間賃貸向け住宅の建設・改修支援、土地購入費等助成

▼就職支援▽企業誘致の推進（新規）、新規就農者の新たな受入体制構築（新規）、新規就農対策の推進、就職マッチング対策

▼子育て支援▽学校教育施設の整備促進（新規）、市外通学者の支援（新規）、給食費無料化、保育園・幼稚園の入園料無料化、給食費無料化、小学生まで医療費無料化

▼交流人口増加の取り組み▽遊休地等の利活用（新規）、ちょっと暮らし施設等の活用

▼地域おこし協力隊員の登用▽専門性を持った人材の配置

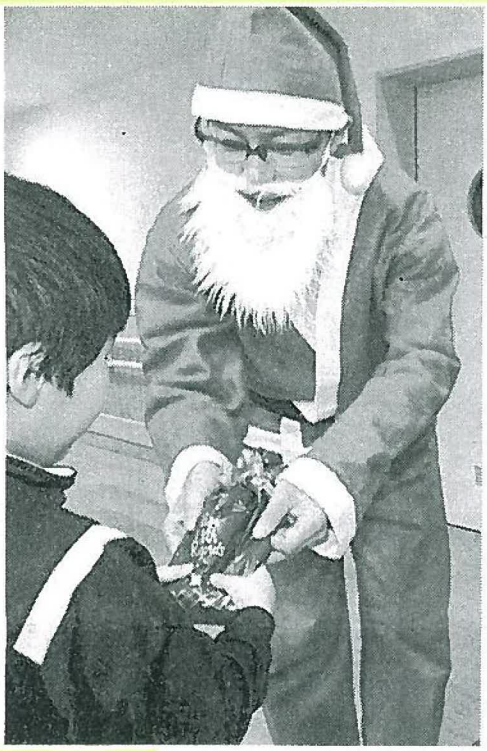
▼多市町村との連携▽移住・定住に関する市町村間の情報交換など

▼移住後の支援▽移住者との交流会支援（新規）

【五十嵐悟】

対し、高橋市
口減少などの
応する移住・
る人口確保や
援は地方創生
政だけでなく
共に、より効

サンタが養護学校寄宿舎に
高瀬工業と谷村工業



サンタが子どもたち一人ひとりにプレゼントを手渡した

【美唄】美唄養護学校（小原雅浩校長）で5日夜、親元を離れて勉強している児童生徒らの寄宿舎にサンタクロースが訪れ、一人ひとりにクリスマスプレゼントを贈った。

サンタの姿でやってきたのは、美唄市内に本社がある建設業の高瀬工業（高瀬謙二郎社長）と、谷村工業（谷村明紀社長）の役職員ら計6人。両社で毎年この時期に訪問し14年になる。

ことしはサンタのほか、トナカイの着ぐるみも用意して寄宿舎を訪問。「皆さん元気にしていましたか」とサンタ姿の谷村社長らが登場すると、クリスマス会で夕食後のひと時を過ごす小学生から高校生までの寄宿生27人の大歓声で盛り上がるなか、一人ずつ学用品やケーキをプレゼントした。子どもたちからは「クリスマスの飾り付けをしてサンタさんが来るのを楽しみにしていました」と感謝の言葉を贈った。

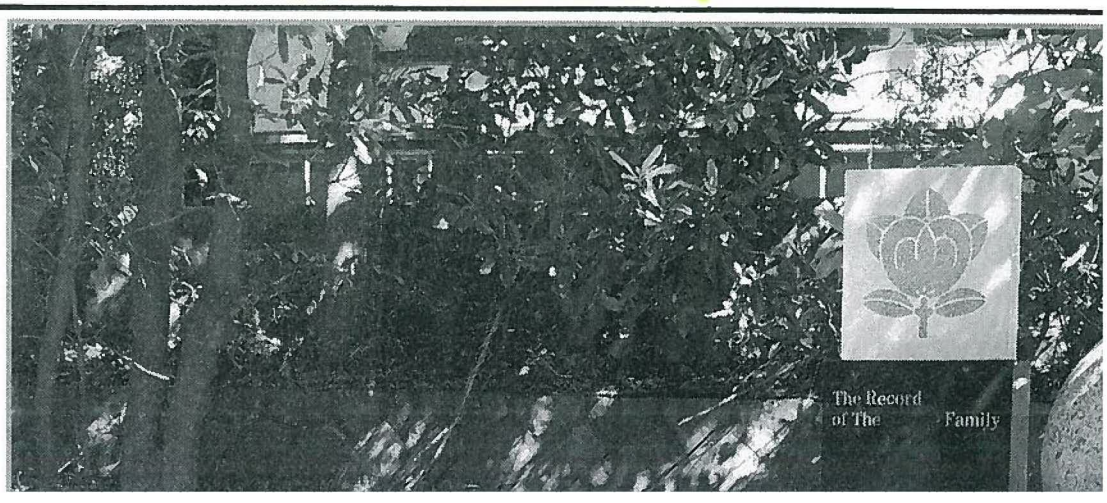
【五十嵐悟】

一般会計に6千万円
市議会が開会 10日一般質問

【美唄】市議会定例会は4日開会し、市民会館・公民館など4施設の指定管理者を来年度から新規の高畑建設（美唄）とする指定管理者の指定6件の議案や、人事院勧告に基づく一般職・特別職・議員報酬の増額改定、一般会計補正予算案などの議案計10件を上程し、休会した。

一般会計は水稲・畑作生産振興事業、なたね設備導入に対する助成など計5900万円を追加し、総額161億2400万円とする。

会期は14日まで。7、10日に一般質問を行う。



震災修理、年内完了受け付けは終了
来年のご予約承けたわまります。
札幌市 滝野霊園指定店の
山崎石材までお気軽にご相談下さい